

計測・通信・表示機能を備えた
ソーラーリンクゼロ



Solar Link ZERO-T2
Solar Link ZERO-T3

設定変更手順書

- 1 用意するもの・・・1
- 2 事前準備・・・2
- 3 設定変更のながれ・・・3
- 4 設定ツールの起動・終了・・・4
- 5 変更内容の反映・・・5
- 6 画面の設定変更・・・6
- 7 計測機器の設定変更・・・13
- 8 ネットワークに関する設定・・・16
- 9 蓄電池情報の表示・・・19

目次

1	用意するもの	1
2	事前準備.....	2
2.1	設定情報のバックアップ	2
3	設定変更のながれ	3
4	設定ツールの起動・終了	4
5	変更内容の反映.....	5
6	画面の設定変更.....	6
6.1	画面テイストの変更	6
6.2	表示・非表示の切替	8
6.3	画面の表示パターン・表示秒数の変更	10
6.4	コンテンツ画面の入替・追加・削除	11
6.5	グラフ画面の変更.....	12
7	計測機器の設定変更 ※出荷時に設定を行っています。基本的に変更しないでください。	13
7.1	計測機器の設定内容の確認	13
7.2	計測機器の設定変更	14
8	ネットワークに関する設定.....	16
8.1	有線 LAN の接続設定	16
8.2	無線 LAN の接続設定	17
8.3	携帯電話回線の設定画面	18
9	蓄電池情報の表示.....	19
9.1	蓄電池表示.....	19
9.2	蓄電池定格容量	20

1 用意するもの

☐ Windows PC

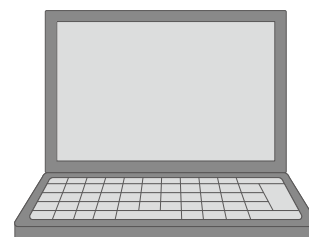
付属の USB メモリを読み込んで、設定変更をおこなうために使用します。

※ 対応 OS : Windows 10

※ 持ち運びしやすいノート PC を推奨します。



・設定変更には必ず Windows PC が必要です！



☐ USB メモリ（以下、付属の USB メモリ）

Solar Link ZERO（以下、ZERO）の設定変更を使用します。



本書の記載内容および使用されている画像は、一部実際の画面と異なる場合があり、また予告なしに変更される場合がございます。

2 事前準備



- ・ ZERO 本体が停止中には計測されません。作業をする時間は、太陽が出ていない時間など、太陽光発電システムの計測に支障のない時間帯を推奨します。

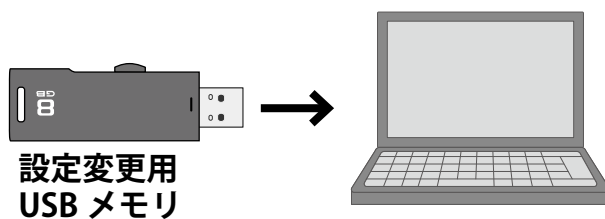
2.1 設定情報のバックアップ

設定変更を行う前に、付属の USB メモリに保存されている全てのファイルやフォルダについて、バックアップを取ります。

1. USB メモリを Windows PC に挿入します。
2. USB メモリ内の全てのデータを選択してコピーし、Windows PC のデスクトップに作成した任意のフォルダなどの中に貼り付けます。

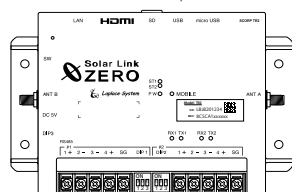
※ USB メモリ内のデータを「切り取り」や「移動」で削除しないようにご注意ください。

※ 各ファイル名の表示の違いは、お使いの Windows PC の「フォルダー オプション」の設定に依存しています。



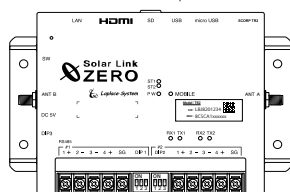
複数台の ZERO をご導入いただいている場合、それぞれの「ZERO」と「付属の USB メモリ」の組み合わせを間違わないようにご注意ください。また、バックアップはそれぞれの USB メモリでお取りください。

設定変更用
USB メモリ A



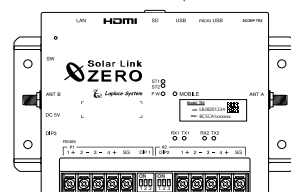
ZERO 本体 A

設定変更用
USB メモリ B



ZERO 本体 B

設定変更用
USB メモリ A

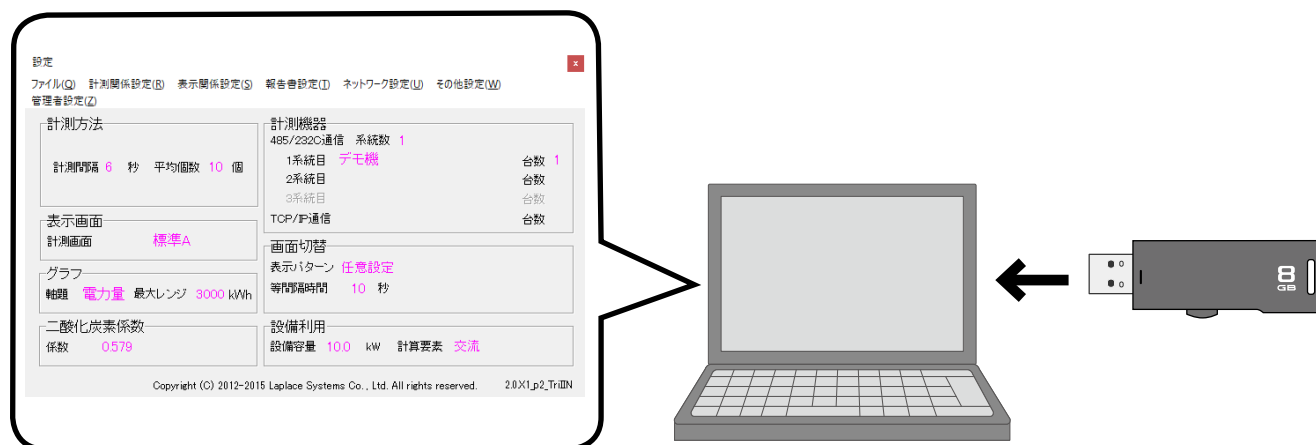


ZERO 本体 B

3 設定変更のながれ

Solar Link ZERO の各種設定変更には付属の USB メモリ内に格納されている設定ツールを使用します。ここでは設定変更の流れについて説明します。

1. 付属の USB メモリを Windows PC に挿入し、設定ツールを起動します（4 ページ）。



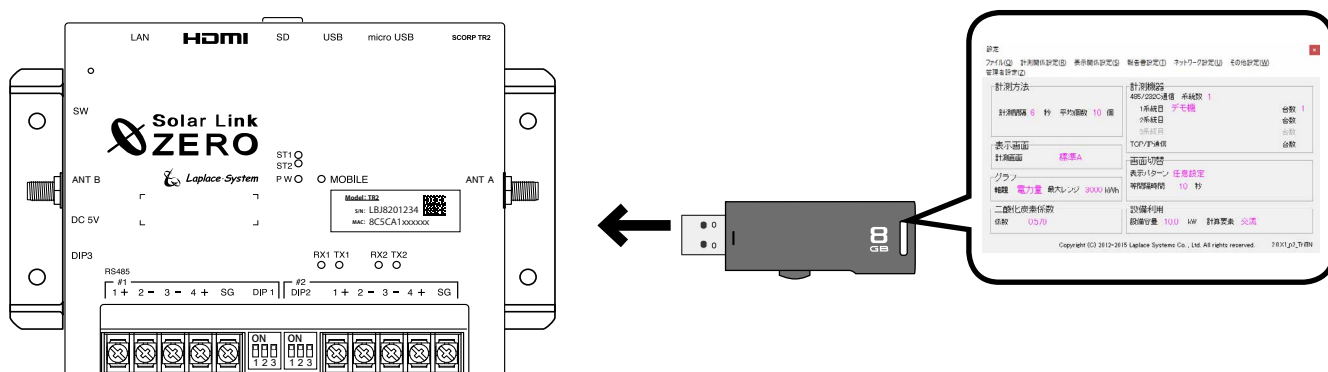
2. 設定ツール上で、変更したい項目の設定を変更します。

設定ツールでは「画面の設定」「計測機器の設定」「ネットワークに関する設定」などの変更ができます。各機能の設定方法は、6 ページ以降をご参照ください。



- ・ 各種設定は出荷時に設定されています。基本的に変更しないでください。また一部の設定はお客様では変更いただけません。

3. USB メモリを Solar Link ZERO に挿入し、設定変更した内容を反映させます（5 ページ）。



4 設定ツールの起動・終了

設定ツールは付属の USB メモリ内に格納されています。ここでは設定ツールの場所と画面の開き方について説明します。

1. Windows PC に付属の USB メモリを挿入します。
2. USB メモリ内の「conf」または「conf.exe」をダブルクリックします。

名前	更新日時	種類
dat	2015/12/02 9:09	ファイル フォルダ
log	2015/12/02 9:09	ファイル フォルダ
setting	2015/12/04 15:22	ファイル フォルダ
conf.ENU	2015/11/19 17:09	ENU ファイル
conf	2015/11/27 15:26	アプリケーション
contents_01	2015/09/30 19:03	JPEG イメージ
contents_02	2015/09/30 19:03	JPEG イメージ

または

名前	更新日時	種類
dat	2015/12/02 9:09	ファイル フォルダ
log	2015/12/02 9:09	ファイル フォルダ
setting	2015/12/04 15:22	ファイル フォルダ
conf.ENU	2015/11/19 17:09	ENU ファイル
conf.exe	2015/11/27 15:26	アプリケーション
contents_01.jpg	2015/09/30 19:03	JPEG イメージ
contents_02.jpg	2015/09/30 19:03	JPEG イメージ

※ファイル名の表示の違いは、お使いの Windows PC の「フォルダーオプション」の設定に依存しています。

3. 設定ツール画面が開き、画面上に現在の設定内容が表示されます。
メニューバーの各メニューから必要な設定を行います。各種設定は 6 ページ以降をご確認ください。

設定

ファイル(F) 計測関係設定(R) 表示関係設定(S) 報告書設定(I) ネットワーク設定(U) その他設定(W)

管理者設定(Z)

計測方法

計測間隔 6 秒 平均個数 10 個

表示画面

計測画面 標準A

グラフ

軸題 電力量 最大レンジ 3000 kWh

二酸化炭素係数

係数 0.579

計測機器

485/232C通信 系統数 1

1系統目 デモ機 台数 1

2系統目 台数

3系統目 台数

TCP/IP通信 台数

画面切替

表示パターン 任意設定

等間隔時間 10 秒

設備利用

設備容量 100 kW 計算要素 交流

Copyright (C) 2012-2015 Laplace Systems Co., Ltd. All rights reserved. 2.0X1p2_TriIN

※赤文字の名称および数値のクリックでも、各種の設定画面を表示することができます。

4. 設定が完了したら「ファイル」メニューの「終了」をクリックするか、画面右上の「×」をクリックして設定ツール画面を閉じます。

5 変更内容の反映

ここでは USB メモリ内の設定ツールで変更した内容を、ZERO に反映させる方法について説明します。

1. ZERO 本体に設定変更済の USB メモリを挿入して、起動（再起動）します。

※起動中に USB メモリ内の設定内容が ZERO に読み込まれます。

【ZERO が動作中の場合】




ZERO の本体左側面の白または黄色のボタンを 3 秒程度長押しして離します。ZERO は再起動します。

【ZERO の電源が入っていない場合】

専用 AC アダプタまたは電源コードを接続し、ZERO を起動します。

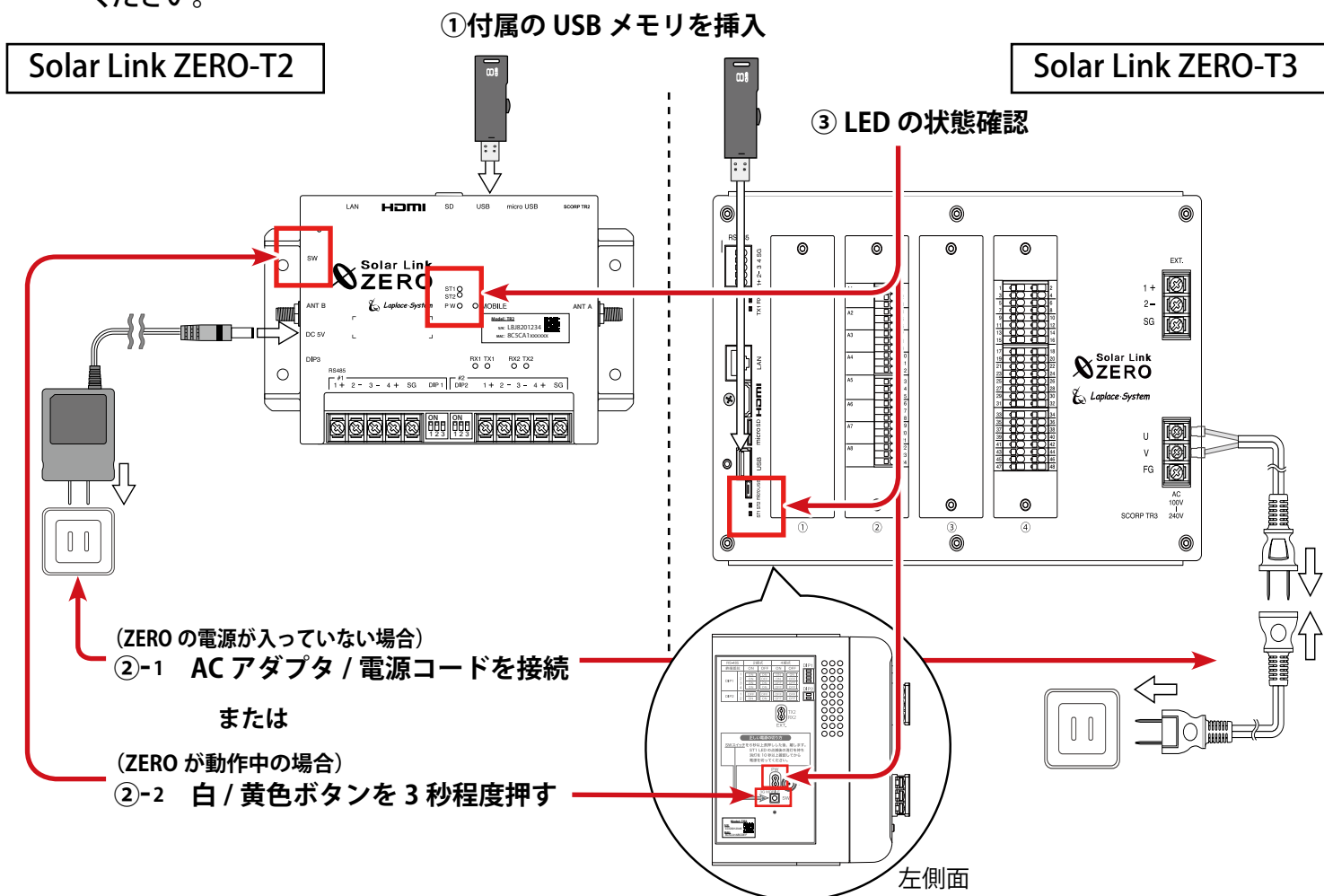
2. 1 分ほどで起動（再起動）が完了します。LED 状態より PCS との通信が成功しているか確認します。
※複数台のパワーコンディショナが接続されている場合は、Web アプリ機能を使用して各パワーコンディショナの計測データが受信できているか確認します。（Web アプリ機能：別紙「取扱説明書」参照）

通信が成功しているときの LED の状態

ST1		消灯
ST2		計測時に点滅（60 秒に 1 回以上）
PW		点灯

3. ディスプレイが接続されている場合は、画面が正常に表示されていることを確認します。

4. USB メモリを取り外します。設定変更後、USB メモリ内の全てのデータのバックアップを取っておいてください。



6 画面の設定変更

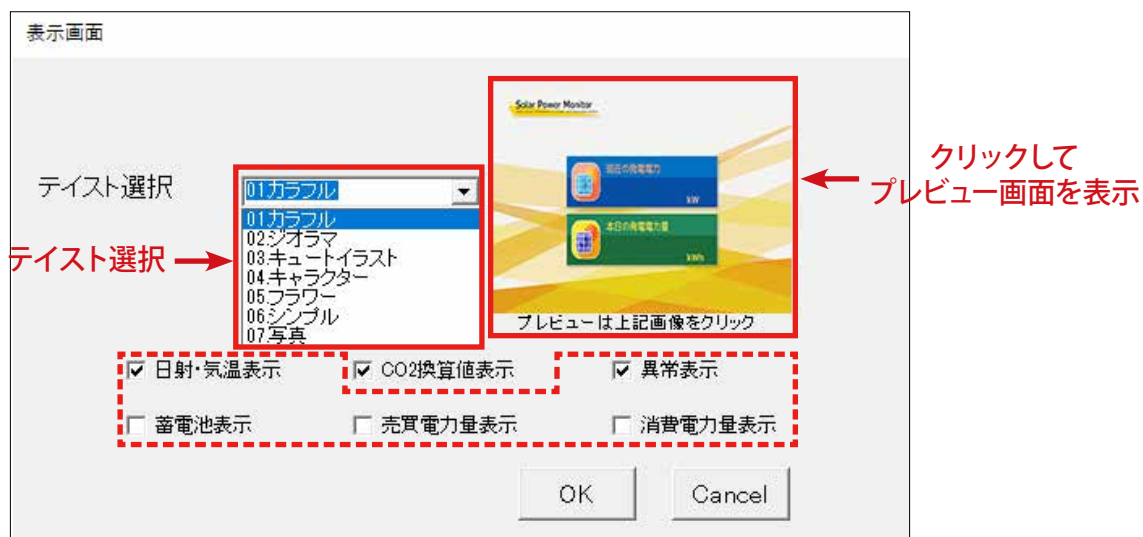
設定ツール画面の「表示関係設定」メニューでは、下記の設定変更を行うことができます。

- 6.1 画面テイストの変更
- 6.2 表示・非表示の切替（日射・気温、CO2換算値、異常、蓄電池、売買電力量、消費電力量）
- 6.3 画面の表示パターン・表示秒数の変更
- 6.4 コンテンツ画面の入替・追加
- 6.5 グラフ画面の変更

6.1 画面テイストの変更

画面のテイストを 8 種類から選択することができます。

1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックし、設定画面を開きます。



2. テイスト選択の中から計測画面のテイストを選択します。

3. 画像をクリックして、設定内容をプレビュー画面で確認します。

※プレビュー画面は再度クリックするか、右上の×をクリックすると閉じることができます。

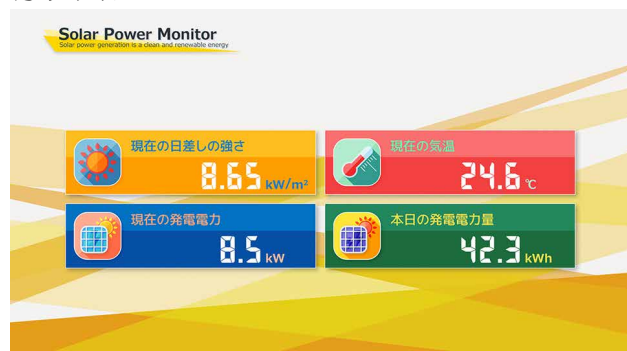
※プレビュー画面には選択したテイストとチェックボックス（赤点線枠内）の設定が反映されます。

チェックボックス内の設定は 8 ～ 9 ページをご参照ください。

4. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** で画面を閉じます。

◆ テイスト選択で選べる画面テイストの種類

カラフル



フラワー



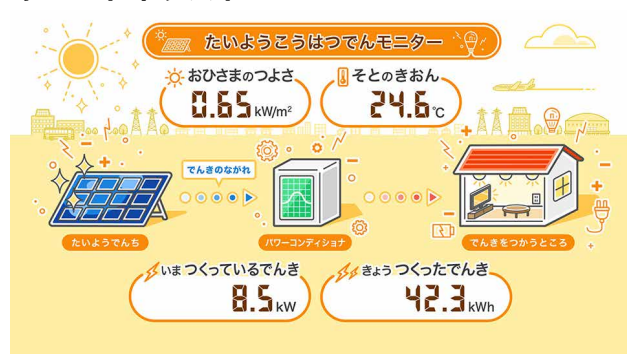
ジオラマ



シンプル



キュートイラスト



写真



キャラクター



標準 A



6.2 表示・非表示の切替

計測画面に表示する各項目・アイコンについて、表示・非表示を設定することができます。

◆日射・気温表示

計測画面に「現在の日差しの強さ」「現在の気温」を表示するかどうかの設定です。

1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックして設定画面を開き、「日射・気温表示」のチェックを入れます（または外します）。

「現在の日差しの強さ」「現在の気温」を
表示する場合：「日射・気温表示」にチェックを入れます
表示しない場合：「日射・気温表示」のチェックを外します



2. 画像をクリックして、設定内容をプレビュー画面で確認します。
※プレビュー画面は再度クリックするか、右上の×をクリックすると閉じることができます。
3. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。



- ・ 日射強度・気温を計測していない場合には、データ表示することができません。
- ・ 日射強度・気温を計測している場合、「日射・気温表示」のチェックを外しても、CSV ファイル（1分値タイプ）に値が保存されます。→別紙：「取扱説明書」参照

◆CO₂ 換算値

「換算画面」の表示項目を、「先月のCO₂削減量はクスノキ〇〇本分」とするか、「先月の発電電力量」とするかの設定です。前者にする場合は、CO₂換算係数も設定できます。

1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックして設定画面を開き、「CO₂換算値表示」のチェックを入れます（または外します）。

「先月のCO₂削減量はクスノキ〇〇本分」と表示する場合
：「CO₂換算値表示」にチェックを入れます
「先月の発電電力量」と表示する場合
：「CO₂換算値表示」のチェックを外します



2. 前者の場合は表示関係設定メニューのCO₂係数から二酸化炭素係数を入力します。

- ※ クスノキ換算表示は、クスノキ1本の1ヶ月のCO₂吸収量を53kg-CO₂としたものです。
- ※ 二酸化炭素係数の初期値：0.579(kg-CO₂/kWh)は、平成18年経済産業省・環境省令第3号第2条第4項に基づく実排出係数及び代替値の平成26年度版です。

CO₂換算係数

二酸化炭素係数

OK Cancel

例：「先月のCO₂削減量はクスノキ〇〇本分」項目の計算式：

$$\text{先月のCO}_2\text{削減量はクスノキ〇〇本分} = \frac{\text{先月の発電電力量 (kWh)} \times \text{設定した二酸化炭素係数}}{53 \text{ (kg-CO}_2\text{)}}$$

3. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。

◆異常表示（異常アイコン）

計測画面に異常を知らせるアイコンを表示するかどうかの設定です。計測機器の異常時には「故障」アイコン、系統異常時には「系統異常」アイコンが表示されます。

1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックして設定画面を開き、「異常表示」のチェックを入れます（または外します）。

異常表示 **故障** **系統異常** を

表示する場合：「異常表示」にチェックを入れます

表示しない場合：「異常表示」のチェックを外します



2. 画像をクリックして、設定内容をプレビュー画面で確認します。
※プレビュー画面は再度クリックするか、右上の×をクリックすると閉じることができます。
3. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。

◆蓄電池表示・売買電力量表示・消費電力量表示

計測画面に蓄電池情報、売買電力量、消費電力量を表示するかどうかの設定です。



- ・ 蓄電池情報の表示を行う場合は 18 ページの「9 蓄電池情報の表示」を参照してください。
- ・ 売買電力量、消費電力量の表示には上記にチェックを入れる他に別途設定が必要です。裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

6.3 画面の表示パターン・表示秒数の変更

画面の表示パターン・表示秒数の設定変更ができます。

- 1. 表示関係設定メニューの画面切替をクリックして自動画面切替画面を開きます。
- 2. 下表を参考に表示パターンを選択します。

1. 計測画面のみ	「計測画面」のみを表示します。
2. 計測画面 + 換算画面	「計測画面」と「換算画面」を切替表示します。
3. 任意設定	<p>表示する画面の種類とその順番・表示秒数を設定できます。</p> <p>●表示画面の選択 巡回表示させたい画面をプルダウンリストから選択します。 「画面枚数」は任意の枚数を設定することができ、設定した枚数の画面が1から順に切り替わります。</p> <p>●表示時間を画面毎に設定する場合 「等間隔切替」のチェックを外してから、表示させる画面の右側にある「切替間隔(秒)」に、秒数を半角数字で入力します。この場合、秒数は全ての画面に設定してください。</p> <p>●表示時間を一律に設定する場合 「等間隔切替」にチェックを入れ、秒数を入力します。入力された秒数が、全ての画面に適用されます。</p>

自動画面切替

表示パターン

☐ 計測画面のみ

☐ 計測画面+換算画面

☒ 任意設定

等間隔時間

☒ 等間隔切替

10

秒

※以下設定は、任意設定選択時に適用されます。

※等間隔チェック時は、等間隔時間が適用されます。

	表示	切替間隔(秒)
1	S1 計測値表示画面	10
2	S2 換算値表示画面	10
3	G1 本日電力量グラフ	10
4	C1 contents_01.jpg	10
5	C1 contents_02.jpg	10
6	S1 計測値表示画面	10
7	S2 換算値表示画面	10
8	G1 本日電力量グラフ	10
9	C1 photo_01.jpg	10

画面枚数:

9 枚

OK

Cancel

※各画面については別紙「取扱説明書」を参照。

- 3. 変更を保存する場合は OK を、変更を保存しない場合は Cancel をクリックして画面を閉じます。

6.4 コンテンツ画面の入替・追加・削除

「コンテンツ画面」の画像を、任意の画像に差し替えたり追加することができます。

1. 追加したい画像を準備します。

表示可能な画像：

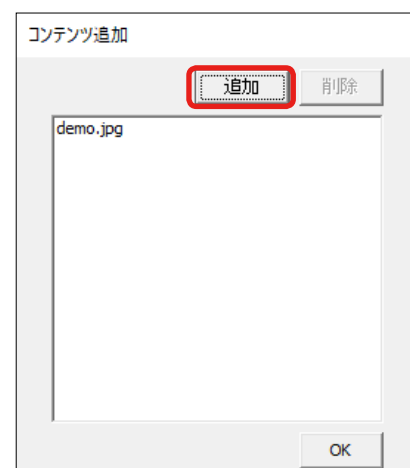
画像の種類： **JPEG** 形式

画像のサイズ： **1920 × 1080 pixel**

ファイルサイズ： **1ファイル当たり 3Mbyte 以下（推奨：1MByte 以下）**

ファイル名： 必ず半角英数字（例：○ contents01.jpg × コンテンツ 01.jpg）
 拡張子は小文字（例：○ contents01.jpg × contents01.JPG）

2. **conf**（または **conf.exe**）をダブルクリックし、設定ツール画面を開きます。
3. **表示関係設定**メニューの**コンテンツ追加**をクリックします。
4. コンテンツ追加画面が開きます。**追加**をクリックし、追加したい画像ファイルを指定すると、コンテンツ追加画面の一覧に追加されます。
 ※画像データは USB メモリ内の [setting] > [contents] フォルダに保存されます。
5. **OK** をクリックして画面を閉じます。
6. **表示関係設定**メニューの**画面切替**をクリックし、「6.3 画面の表示パターン・表示秒数の変更」（10 ページ）を参考に、**表示欄**のプルダウンリストで新しく追加したコンテンツを選択します。また**切替間隔（秒）**を設定します。
7. 変更を保存する場合は **OK** を、
 変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。



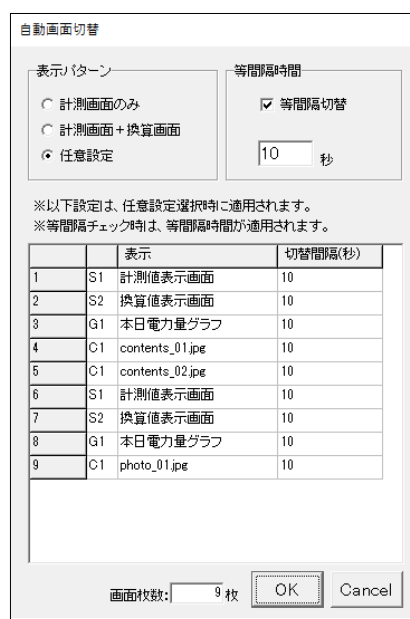
- 画像サイズが 1920 × 1080 pixel でない場合や、ファイル名が半角英数字でない場合はエラーメッセージが表示されます。
- グラデーション画像を表示させた場合、仕様上 (RGB565)、色ムラが出る場合があります。
- 初期設定ではコンテンツ画面 3 枚が登録されています。
- 追加できるコンテンツの枚数は最大で 30 枚です。

コンテンツとして追加した画像は以下の手順で削除できます。

1. **conf**（または **conf.exe**）をダブルクリックし、設定ツール画面を開きます。
2. **表示関係設定**メニューの**コンテンツ追加**をクリックします。
3. 削除したい画像を選択し、**削除**をクリックすると一覧から削除されます。

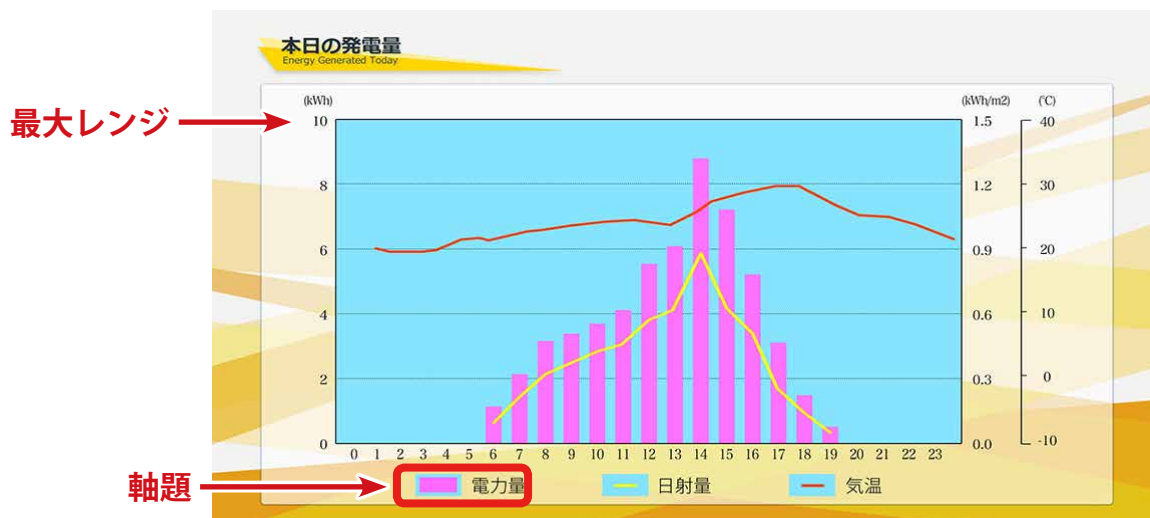
※ 一覧から削除すると、USB メモリ内の画像データも削除されます。画像が必要な場合は、あらかじめ [setting] > [contents] フォルダ内の画像をコピーするなどしておいてください。

4. **OK** をクリックして画面を閉じます。



6.5 グラフ画面の変更

発電電力量グラフの軸題と最大レンジ、気温のレンジを変更することができます。



グラフ画面サンプル

発電電力量グラフの設定変更

1. 表示関係設定メニューのグラフをクリックします。
2. 発電電力量グラフタブで軸題を入力し、最大レンジを選択します。
※軸題は全角5文字以下で入力します。
※レンジは5～3000 (kWh) で設備容量より少し大きい値にします。
3. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。

発電電力量グラフ設定画面

気温レンジの設定変更

1. 表示関係設定メニューのグラフをクリックします。
2. 気温レンジタブで最高気温と最低気温を入力します。
※ -50～50℃ の範囲でプルダウンから選択します。
3. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。

気温レンジ設定画面

グラフ画面の表示／非表示を設定する

1. 表示関係設定メニューの画面切替をクリックします。
2. 表示パターンの任意設定を選択します。
3. 本日電力量グラフを選択しプルダウンで空白を選択します。
4. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。

	表示	切替間隔(秒)
1	S1 計測値表示画面	10
2	S2 換算値表示画面	10
3	G1 本日電力量グラフ	10
4	C1 計測値表示画面	10
5	C1 換算値表示画面	10
6	S1 本日電力量グラフ	10
7	S2 contents_01.jpg	10
8	G1 contents_02.jpg	10
9	C1 photo_01.jpg	10

画面枚数: 9 枚

自動画面切替画面

7 計測機器の設定変更 ※出荷時に設定を行っています。基本的に変更しないでください。

「計測関係設定」メニューでは、ZERO に接続する計測機器（パワーコンディショナやリモート I/O など）の設定内容の確認や変更を行うことができます。

7.1 計測機器の設定内容の確認

設定ツール画面で確認することができます。

1. 「4 設定ツール画面の起動・終了（4 ページ）」を参照して、設定ツール画面を開きます。
2. 計測機器枠内に表示されている内容が、現在の設定内容です。

設定

ファイル(Q) 計測関係設定(R) 表示関係設定(S) 報告書設定(I) ネットワーク設定(U) その他設定(W)

管理者設定(Z)

計測方法

計測間隔 6 秒 平均個数 10 個

表示画面

計測画面 標準A

グラフ

軸題 電力量 最大レンジ 3000 kWh

二酸化炭素係数

係数 0.579

計測機器

485/232C通信 系統数 1

1系統目 デモ機 台数 1

2系統目 台数

3系統目 台数

TCP/IP通信 台数

画面切替

表示パターン 任意設定

等間隔時間 10 秒

設備利用

設備容量 100 kW 計算要素 交流

Copyright (C) 2012-2015 Laplace Systems Co., Ltd. All rights reserved. 2.0X1_p2_TriIN

上図は RS-485 通信のパワーコンディショナが 1 台接続されている例です。
(" デモ機 " の部分に選択したパワーコンディショナのメーカー名が表示されます)

7.2 計測機器の設定変更

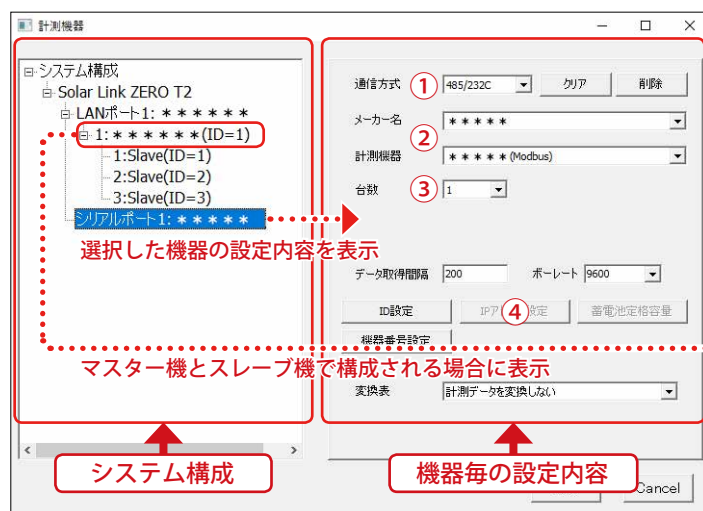


- ・ 出荷時に設定を行っています。基本的に変更しないでください。
- ・ 計測機器の変更が必要になった場合は、必ず弊社までご連絡ください。



- ・ 計測機器を変更するとそれまでの計測データが削除されますのでご注意ください。

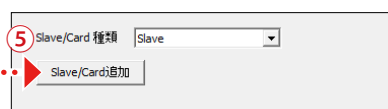
1. 計測関係設定メニューの計測機器をクリックして、以下の画面を開きます。



計測機器画面

システム構成で選択した計測機器の設定内容が右側に表示されます。

特定の機器のみに表示される設定項目もあります。(15 ページ参照)



例：Slave/Card の追加設定

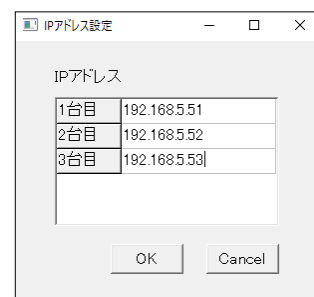
2. 設定を変更する計測機器を選択し、変更内容に応じた設定を行います。

- ① **通信方式**：計測機器との通信方式を選択 (485/232C または TCP/IP)
- ② **メーカー名・計測機器**：計測機器のメーカー名と種類を選択
- ③ **台数**：接続する台数を選択
- ④ **IP アドレス設定** (通信方式が TCP/IP の計測機器の場合のみ)
[IP アドレス設定] ボタンで表示し、接続台数分の IP アドレスを設定します。

※本設定は計測機器の IP アドレス設定ではありません。パワーコンディショナなどの計測機器側の IP アドレスの設定方法は、計測機器メーカーにご確認の上、計測機器側で設定してください。

- ⑤ **Slave/Card 追加** (スレーブ機器が接続される場合のみ)

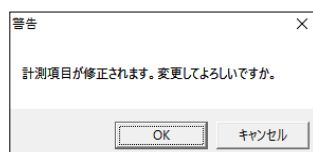
機器を選択して表示される画面で、[Slave/Card 追加] ボタンをクリックし、Slave や Card を必要台数設定します。



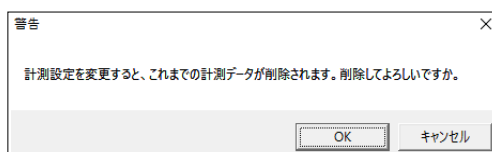
IP アドレス設定画面

3. 入力内容を確認し、OK をクリックします。

計測項目の変更や計測データの削除について、確認画面が表示されるのでどちらも OK をクリックします。



計測項目変更の確認画面



計測データ削除の確認画面

◆計測機器（系統）の追加と削除

【計測機器の追加】

1. システム構成で、計測機器を追加したい端末を選択します。
2. 計測機器を追加 ボタンをクリックすると、システム構成に新しく項目（未設定）が追加されます。
3. 追加された項目（未設定）を選択して設定します。



【計測機器の削除】

1. 設定画面の右側の 削除 ボタンをクリックします。
2. 削除に関する確認画面が表示されますが、OK をクリックします。

※ クリア ボタンは画面の設定内容を初期状態に戻します。



◆ ID、機器番号の設定ボタン ※変更すると計測不可となる場合があります。基本的に変更しないでください。

ID、機器番号は台数に応じて自動で設定されます。手動で変更する場合は、[ID 設定] [機器番号設定] ボタンをクリックして表示される画面で任意の番号を設定します。

ID 設定	そのポートに接続する PCS の ID を設定します。 Web アプリケーションでは設定した ID の昇順で表示されます。
機器番号設定	ZERO に接続する PCS それぞれに割り当てる番号の設定です。 Web アプリケーションの詳細故障画面で「機器番号」として表示されます。
Slave/Card ID (マスタースレーブタイプの機器の場合)	各スレーブ機の ID を設定します。
Slave 機器番号 (マスタースレーブタイプの機器の場合)	各スレーブ機に割り当てる番号。マスター機の機器番号の枝番として表示します。

◆その他の設定 / ボタン ※変更すると計測不可となる場合があります。基本的に変更しないでください。

データ取得間隔	計測機器のデータ取得間隔を 0 ～ 99999msec で設定します（デフォルト値に選択した計測機器に最適な値が表示されます）。
IP アドレス設定 (※)	通信方式が TCP/IP の場合に PCS の IP アドレスを登録します（14 ページ参照）。
蓄電池定格容量 (※)	蓄電池 PCS を選択した場合に、その定格容量を入力します（18 ページ参照）。
Slave/Card 追加 (※)	リモート I/O や特定の PCS 使用時に必要な場合に Slave 機を追加します。
仮想 COM ポート (※)	特定の PCS で仮想 COM の設定が必要な場合に設定します。
ボーレート (※)	特定の PCS でボーレートの設定が必要な場合に設定します。
NTP サーバーとして使用	出荷時に設定済みです。デフォルト設定のままご使用ください。
日射計付属・気温計付属	日射計・気温計が何台目の計測機器に付いているか表示されます。
変換表	出荷時に設定済みです。デフォルト設定のままご使用ください。

※これらのボタンは設定が必要な場合にのみ、表示またはクリックできるようになります。

8 ネットワークに関する設定

ZERO 本体のネットワークに関する設定内容の確認や変更を行うことができます。



- ・ パワーコンディショナが TCP/IP 通信で接続されている場合は、パワーコンディショナのネットワーク設定との整合を確認しながら設定する必要があります。

8.1 有線 LAN の接続設定

1. ネットワーク設定メニューの本体をクリックします。
2. 有線 LAN タブで「有線 LAN を使用する」にチェックを入れ、接続方法を選択します（自動取得／固定）。
3. 手順 2. で固定を選択した場合 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーを入力します。
※ DNS サーバーの入力は任意です。
※パワーコンディショナが TCP/IP 通信で接続されている場合は、必ず固定 IP としてください。
4. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。



- ・ 複数のネットワーク設定が有効になっている場合、先に接続された方法で通信します。

【ネットワーク管理者の方へ】

下記のネットワーク情報をご準備ください。

ZERO 本体に割り振る情報	ZERO 本体が構内 LAN 接続に用いる情報
<ul style="list-style-type: none"> ・ IP アドレス（必須） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サブネットマスク（必須） ・ デフォルトゲートウェイ（任意） ・ DNS サーバ（任意）
構内 LAN 内パソコンの Web ブラウザに IP アドレスを入力して ZERO 本体にアクセスし、Web アプリ画面を表示することができます。	現地のネットワーク状況に合わせてご用意ください。

8.2 無線 LAN の接続設定

1. ネットワーク設定メニューの**本体**をクリックします。
2. **無線 LAN** タブで「**無線 LAN を使用する**」にチェックを入れ、**接続方法**を選択します（自動取得／固定）。
3. **SSID**、**セキュリティ種類**、**暗号化種類**、**パスワード**を入力またはプルダウンから選択します。
4. 固定を選択した場合は **IP アドレス**、**サブネットマスク**、**デフォルトゲートウェイ**、**DNS サーバー**を入力します。
※ DNS サーバーの入力は任意です。
※ パワーコンディショナが TCP/IP 通信で接続されている場合は、必ず固定 IP としてください。
5. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。



注意

- 複数のネットワーク設定が有効になっている場合、先に接続された方法で通信します。



- ※ 無線 LAN を使用する場合、推奨値として電波強度が「-45dBm」～「-71dBm」であれば、通信を安定して行うことができます（現地状況により、実際の通信状況は変動する可能性があります）。

【ネットワーク管理者の方へ】

下記のネットワーク情報をご準備ください。

ZERO 本体に割り振る情報	ZERO 本体が構内 LAN 接続に用いる情報
<ul style="list-style-type: none"> • IP アドレス（必須） 	<ul style="list-style-type: none"> • サブネットマスク（必須） • デフォルトゲートウェイ（任意） • DNS サーバ（任意） • SSID（必須） • セキュリティ種類（必須） • 暗号化種類（必須） • パスワード（必須）
構内 LAN 内パソコンの Web ブラウザに IP アドレスを入力して ZERO 本体にアクセスし、Web アプリ画面を表示することができます。	現地のネットワーク状況に合わせてご用意ください。

9 蓄電池情報の表示



- 蓄電池に関する設定は、ZERO 本体と直接接続されている HDMI 出力のディスプレイのみに反映されます。

9.1 蓄電池表示

蓄電池システムが接続されている場合に、蓄電池の情報（出力電力と残量）をディスプレイに表示させたり、計測データ（対象ファイルは日報・月報・年報・年度報の4種類）に追加することができます。

- 表示関係設定メニューの表示画面をクリックします。
- 蓄電池表示**にチェックを入れると、蓄電池表示機能が有効になります。
無効にする場合は**蓄電池表示**のチェックを外します。
※出荷時に設定を行っています。基本的に変更しないでください。
- 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。



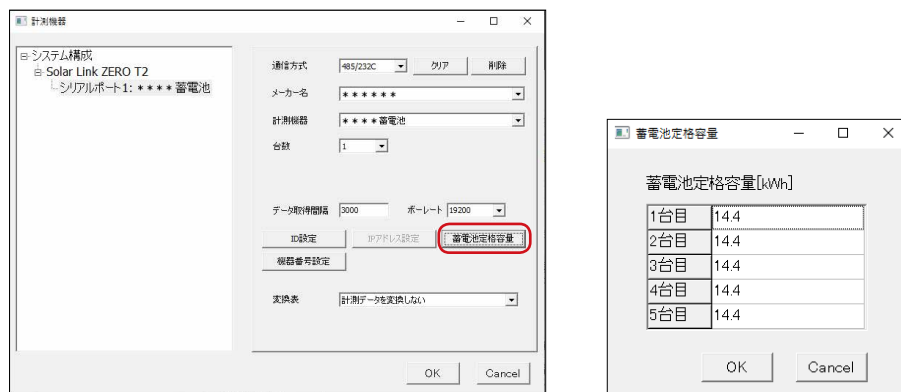
画像をクリックして
プレビュー画面を表示させると、
蓄電池情報が追加されたかどうかの
確認ができます。

蓄電池表示機能が有効になっている状態

9.2 蓄電池定格容量

蓄電池表示を有効にした場合は、蓄電池残量を正しく計測するために、蓄電池の定格容量を設定する必要があります。設定は計測機器毎に必要です。

1. 計測関係設定メニューの計測機器をクリックして計測機器画面を開きます。
2. [蓄電池定格容量] ボタンをクリックします。



3. 台数分の入力欄が表示されます。蓄電池定格容量を接続している台数分入力します。
※出荷時に設定を行っています。基本的に変更しないでください。
4. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。

◆ 蓄電池付システムを計測している場合の計測画面（蓄電池情報が追加されます）

カラフル



フラワー



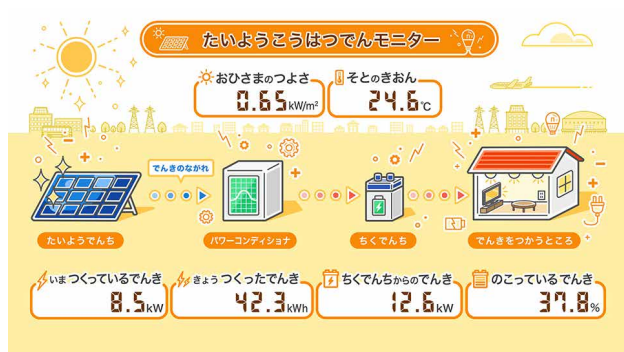
ジオラマ



シンプル



キュートイラスト



写真



キャラクター



標準 A



改訂履歴

バージョン	内 容	発行日
1.0	起草	2016.02.02
1.1	表紙の商品名とバージョン番号を修正。画像変更	2016.03.14
1.2	無線 LAN の設定について追記、売買電力量表示の注意書きを追記	2016.05.17
	誤記修正	2016.06.29
1.3.1	バージョン改訂による設定ツールの画像を差替え、手順の変更	2016.10.12
1.4 A	バージョン改訂による設定ツールの画像を差替え	2017.04.04
1.4 B	バージョン改訂による設定ツールの画像を差替え、手順の変更	2017.04.28
2.0 A	T3 について追記。設定変更全体のながれを追記。ページ構成の調整。	2017.06.29
2.0 B	バージョン改訂による設定ツールの画像を差替え、画像追加・設定の上限変更	2017.09.06
2.1	気温レンジ設定機能追記	2018.03.02
2.2	バージョン改訂による設定ツールの画像を差替え、説明文を追記	2018.08.30
2.3	本体画像の差し替え、固有名表現の変更、コンテンツ画面詳細の追記	2019.02.01
2.4	バージョン改訂による設定ツールの画像を差替え、デザインテイストリニューアル	2019.04.01
2.5	バージョン情報の変更	2019.08.22
2.6	携帯電話回線用モジュールの LTE 網対応、対応 OS の変更	2019.11.13

著作権について

本ソフトウェア、取扱説明書など弊社作成物の著作権は株式会社ラプラス・システムに帰属します。株式会社ラプラス・システムの許可なく、内容の全部または一部を複製、改変、公衆送信することは、著作権法上、禁止されております。

ソフトウェアには第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知に基づき、フリーソフトウェアとして配布されるコンポーネントを使用しています。

詳しくは USB メモリ内の ライセンス情報 .pdf をご参照ください。

お問い合わせ先

株式会社 ラプラス・システム

お電話でのお問い合わせ

TEL: 075-634-8073

お問い合わせはコールセンターまで

弊社 HP からのお問い合わせ

<https://www.lapsys.co.jp/>

「お問い合わせ」フォームをご利用ください

- ・本説明書で登場するシステム名、製品名、ブラウザ名、サービス名は、各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
 - ・本説明書中では TM、R マークは明記していません。
 - ・本説明書の内容を無断で転載することを禁じます。
 - ・本説明書の内容は改良のため予告なく変更される場合があります。
-



株式会社 ラプラス・システム

〒612-8083

京都市伏見区 京町 1-245

TEL:075-634-8073 / FAX:075-644-4832